

農家、JAへ応援歌 東京のJA役員ら作詞・作曲

【東京・スマイル】Youthful Farmer 若者たちは 二十一世紀を大きく拓(ひら)くよ——。二十一世紀の新しい農家・JA像をモチーフとしたJAソングが誕生した。曲名は「JA Our Country(ジェイエイ アワー カントリー)」。JA東京スマイルの松丸重蔵常務が作曲、JA東京信連の大竹道茂常務が作詞した。ロカビリー歌手の山下敬二郎さんの歌でCD録音を終え、振り付けも完成。全国のJAの催しなどで愛唱してほしいと期待している。

松丸常務が厳しい状況下でも元気に頑張る農家の応援歌として昨年九月に作曲。学生時代にカントリーソングのバンドを組んでいた経験が生きた。松丸常務は一昨年にも地元葛飾・水元の盆踊り曲「水元ソング」を作曲している。

自費CD化へ準備を進めていた十二月、松丸常務の長年の友人、ロカビリー歌手の山下さんが、「日本農業の活性化」のためにと、スタジオやバックバンドを準備、歌も自身が無報酬で協力するという、思わぬ形でCD録音が行われた。

振り付けは、西崎流師範の西崎藤江さんが考案。JA女性部員にも気軽にステップを踏めるよう、親しみやすい軽やかな楽しいカントリー調に仕上がった。

十一日には葛飾区亀有地区センターで、水元の実りの会とつぼみっこクラブによって披露された。大竹常務は「カントリーを意識して作詞した。こんな楽しい振り付けの楽曲になるとは」と楽曲の”成長”に驚く。

松丸常務は「昨今の農業の姿を歌で表現し、日本農業をよみがえらせるような曲を心がけた。ぜひ全国の催しなどで愛唱歌として親んでもらいたい」と話している。

聞いてみたい人には無料で配る予定。連絡先はJA東京スマイル広報課、電話03(5680)5550。

ふれあいコーディネーター
株式会社農協観光

21世紀もあなたと一緒に

早く正確にまきたい

種まきのことなら種まきごんべえ

▶ トップニュース

▶ 餌に染料で発色鮮やか お手軽カラー繭に／群馬

▶ WTO日本提案は輸入国で支持 米、反対姿勢鮮明に

トフラッシュ

- ❖ 雪印食品を提訴 賠償5億円求める
- ❖ 02年産の夏秋野菜作付け 大規模産地で減少
- ❖ 政府のBSE対応は不適切 自治体・JAトップアンケート
- ❖ 日本向け最低輸出価格 中国が見直し検討
- ❖ 諫早干拓開門調査 長崎県知事が開門反対
- ❖ 青森リンゴを販促 イオン15日から
- ❖ ポリ袋使ってみそや梅干し簡単に
- ❖ 野菜収穫体験＋料理実習 香川・善通寺市の小学校
- ❖ 新規就農へ各地で説明会
- ❖ 農水大臣賞に4点 ふるさと食品コンクール